

子ども食堂等子どもの居場所に関する実態調査（市町社協用）

報告書

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

目次

I	調査実施の概要	1
1	調査目的	
2	調査期間	
3	調査対象	
4	調査方法	
5	回収結果	
II	調査結果の概要	2
1	市町の「居場所」の状況等について	
(1)	「居場所」の有無	2
(2)	把握している「居場所」の箇所数	3
(3)	こども応援宅食便への協力の有無	4
2	社協事業と「居場所」の関わりについて	
(1)	社協事業への「居場所」の機能やスタッフの協力の有無	5
(2)	「居場所」への支援内容	6
3	中間的支援について	
(1)	「居場所」とボランティアのコーディネートの有無	7
(2)	登録ボランティアへ「居場所」についての情報提供の有無	8
(3)	「居場所」への参加が必要と感じる人・世帯の把握にあたり 連携している機関・団体	9
(4)	日頃から連携を行っている「居場所」の有無	10
(5)	子どもと「居場所」をつなぐことの有無	11
(6)	「居場所」側から利用者についての相談の有無	12
(7)	「居場所」の活動者が利用できる助成金情報等の把握の有無	13
(8)	「居場所」の活動者に助成金について情報提供の有無	14
(9)	「居場所」の活動者への情報提供の方法	15
(10)	「居場所」に対する財源・物資確保に向けた支援の有無	16
(11)	「居場所」に関するネットワークの有無	17
(12)	「居場所」に関するネットワークの構成メンバー	18
(13)	「居場所」のネットワークにおいて担っている役割	19

4	社会福祉法人との関わりについて	
(1)	社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動の有無	20
(2)	社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動内容	21
5	居場所を通じての支援と連携の広がりについて	
(1)	「居場所」等の活動をきっかけとした地域住民のニーズ把握や 支援のマッチング等へのつながりの有無	22
(2)	「居場所」の活動支援で連携している機関・団体等	23

子ども食堂等子どもの居場所に関する実態調査（市町社協用）報告書【単純集計結果】

※ 本調査では、子ども食堂等、食事を提供する子どもの居場所を「居場所」と表記しています。

I 調査実施の概要

1 調査目的

地域福祉課題提言部会では、令和元年度に「子どもの居場所づくりの充実における中間的支援の在り方と社会福祉協議会の役割」をテーマに提言書を作成した。そこでは、社協に求められる「居場所」への中間的支援を提言した。

山口県における現在の「居場所」は、その当時の（55 か所）の倍以上（127 か所）に増えている（山口県こども食堂支援センター把握分）。

このように、「居場所」の取組が広がっている中、現在の市町社協の「居場所」への関わりや支援の課題等を明らかにするとともに、「居場所」の活動を切り口に地域で支援を必要とする人・世帯と支援のマッチングを効果的に行うために、社協がどのような役割が果たせるのか検討する。

2 調査期間

令和4年6月3日（金）から令和4年6月24日（金）まで

3 調査対象

山口県内の19市町社会福祉協議会（各市町域全体の状況を調査した。）

4 調査方法

MicrosoftForms で作成したオンライン上のアンケートフォームへの入力により行った。

5 回収結果

回収数（率） 19 か所（100.0%）

Ⅱ 調査結果の概要

1 市町の「居場所」の状況等について

※ 問1～問3は、回答者の情報（氏名等）をたずねる設問のため、問4からの結果概要を以下に記載する。

(1) 「居場所」の有無

問4 貴市町内に「居場所」はありますか。当てはまるものを選択してください。

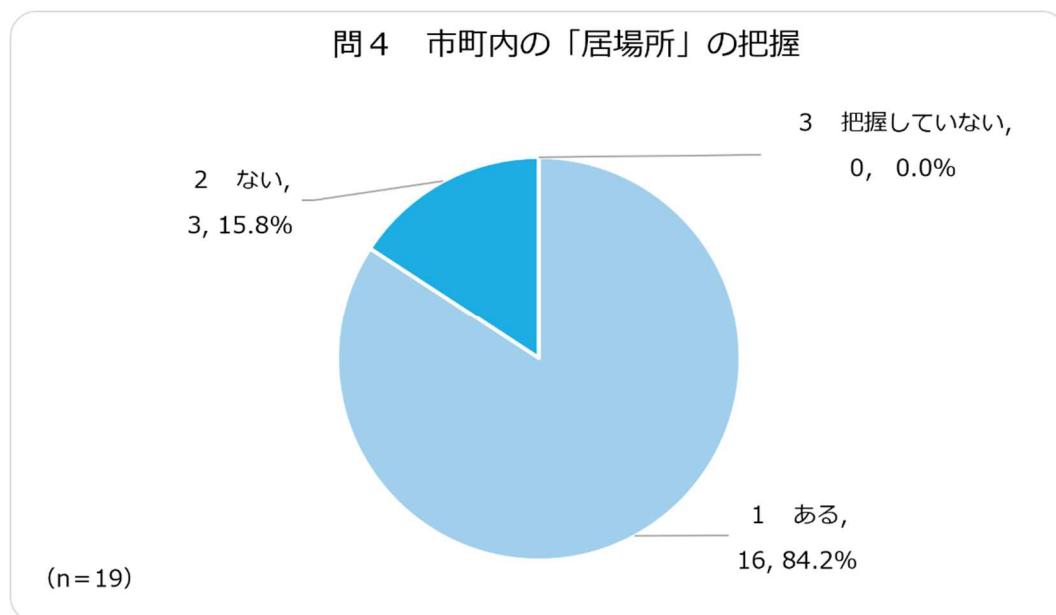
市町内の「居場所」の有無を聞いたところ、「ある」84.2%（16か所）、「ない」15.8%（3か所）となっている。

【「居場所」が「ある」と回答した市町】

下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、和木町、田布施町、平生町

【「居場所」が「ない」と回答した市町】

周防大島町、上関町、阿武町



(2) 把握している「居場所」の箇所数

問5 「居場所」が「ある」とされた方におたずねします。把握されている箇所数を入力してください。

市町社協が把握している「居場所」の箇所数は、下表の「回答箇所数」欄のとおり県内全体で132か所となっている。これは、本調査時点で山口県子ども食堂支援センターが把握している「居場所」の箇所数127か所と差は少ない。

各市町の「居場所」箇所数

市町名	回答箇所数
下関市	22
宇部市	16
山口市	23
萩市	12
防府市	12
下松市	4
岩国市	9
光市	4
長門市	1
柳井市	3
美祢市	8
周南市	12
山陽小野田市	2
周防大島町	0
和木町	1
上関町	0
田布施町	1
平生町	2
阿武町	0
合 計	132

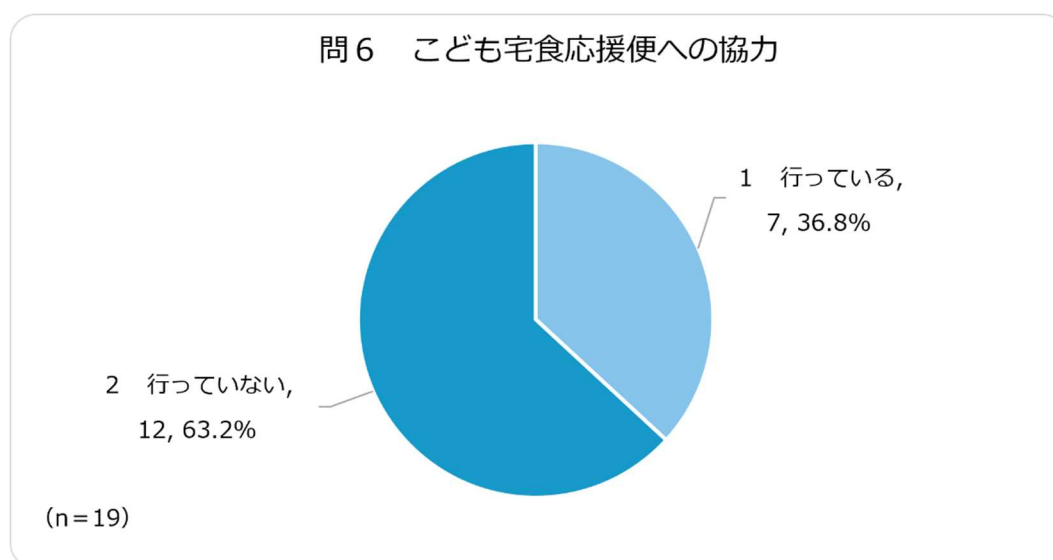
(3) こども応援宅食便への協力の有無

問6 貴社協では、「こども応援宅食便※（様々な団体が実施する類似の取組を含む）」への協力を行っていますか。当てはまるものを選択してください。

「こども応援宅食便（様々な団体が実施する類似の取組を含む）」への協力を行っているか聞いたところ、「行っている」36.7%（7か所）、「行っていない」63.2%（12か所）となっている。

【協力を「行っている」市町】

山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、美祢市、周南市



※ こども応援宅食便…NPO法人フードバンク山口が実施されている寄贈された食品を食品が必要であるのに支援が届いていない子どものいる家庭に届ける取組。（本設問では、他団体が実施している違う名称の類似の取組も含まれます。）

2 社協事業と「居場所」の関わりについて

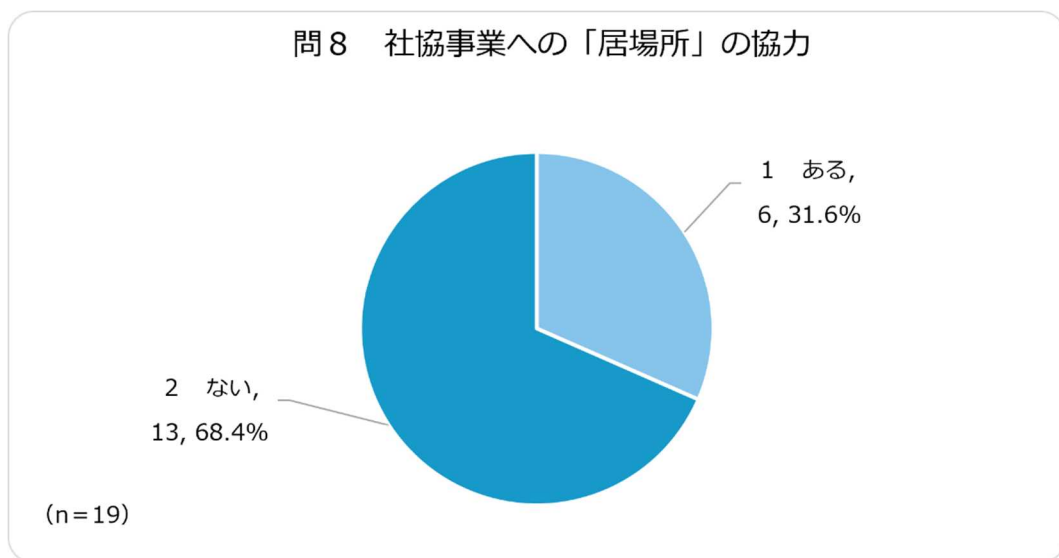
(1) 社協事業への「居場所」の機能やスタッフの協力の有無

問8 貴社協事業で「居場所」の機能やスタッフに協力してもらうことがありますか。
当てはまるものを選択してください。

社協事業で「居場所」の機能やスタッフに協力してもらうことがあるか聞いたところ、「ある」31.6%（6か所）、「ない」68.4%（13か所）となっている。

【協力してもらうことが「ある」市町】

山口市、防府市、岩国市、光市、美祢市、田布施町



(2)「居場所」への支援内容（複数回答）

問 10 貴社協では、「居場所」への支援を行っていますか。当てはまるものすべてを選択してください。

「居場所」への支援内容について聞いた。割合の高い順に「立ち上げ支援（相談）」31.6%（12 か所）、「普及啓発活動」23.7%（9 か所）、「運営支援」21.1%（8 か所）、「支援を行っていない」13.2%（5 か所）、「立ち上げ支援（補助金等財政支援）」10.5%（4 か所）となっている。

【「立ち上げ支援（相談）」を実施している市町】

下関市、宇部市、山口市、防府市、下松市、岩国市、光市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、田布施町

【「普及啓発活動」を実施している市町】

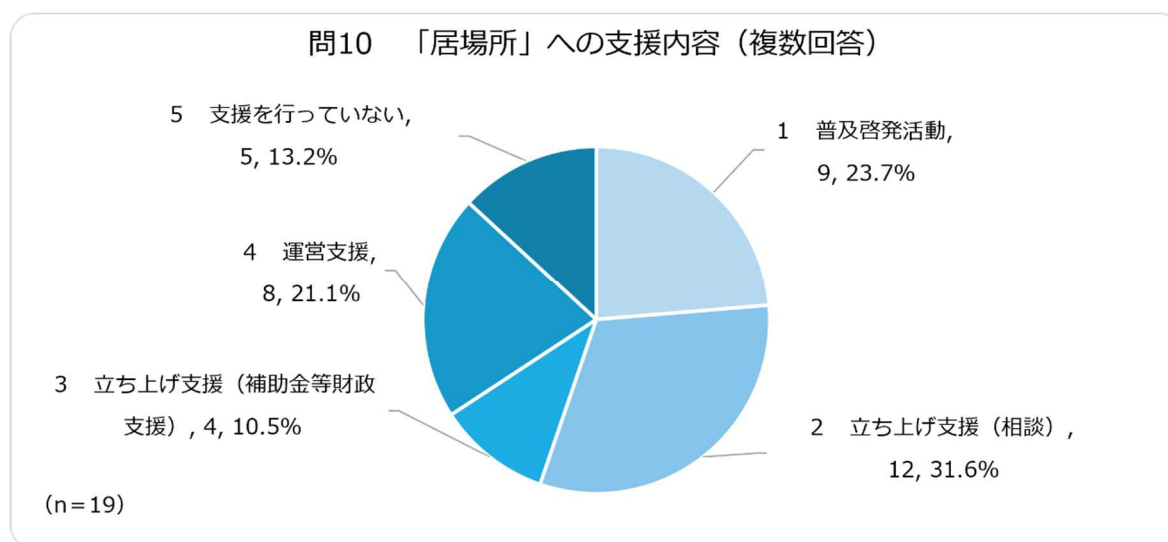
下関市、山口市、萩市、防府市、岩国市、光市、柳井市、美祢市、田布施町

【「運営支援」を実施している市町】

下関市、山口市、防府市、岩国市、光市、美祢市、和木町、田布施町

【「立ち上げ支援（補助金等財政支援）」を実施している市町】

宇部市、山口市、防府市、柳井市



3 中間支援について

(1)「居場所」とボランティアのコーディネートの有無

問 12 貴社協では、「居場所」とボランティアのコーディネートをするところがありますか。当てはまるものを選択してください。

「居場所」とボランティアのコーディネートをするところがあるか聞いたところ、「ある」36.8% (7 か所)、「ない」36.8% (7 か所)、「相談がない」26.3% (5 か所) となっている。

【コーディネートをするところが「ある」市町】

下関市、山口市、防府市、岩国市、美祢市、周南市、田布施町

【コーディネートをするところが「ない」市町 (機会のなかった市町)】

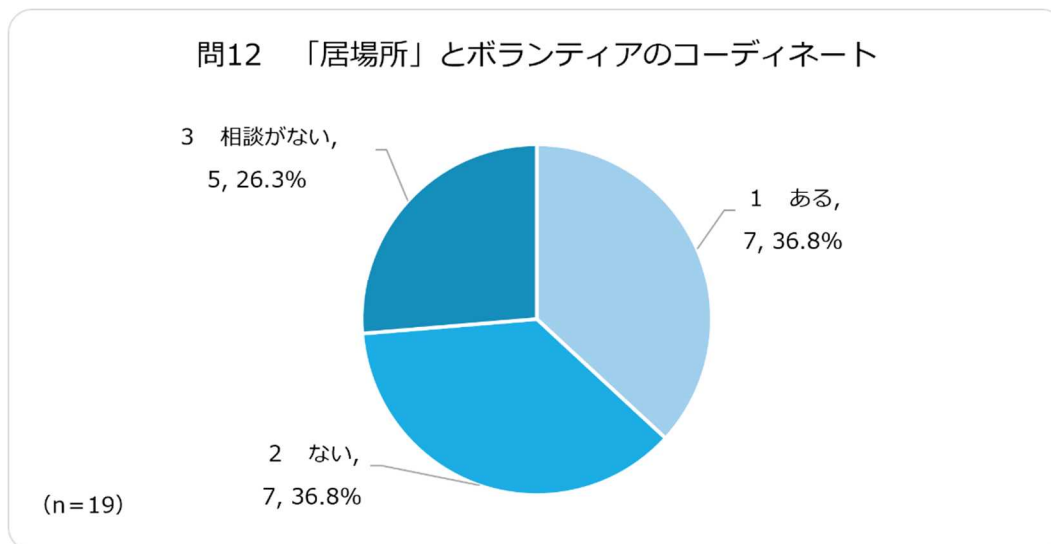
宇部市、長門市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、平生町、阿武町

※うち、周防大島町、阿武町は、町内に「居場所」なしと回答。

【「相談がない」市町 (機会のなかった市町)】

萩市、下松市、光市、柳井市、上関町

※うち、上関町は、町内に「居場所」なしと回答。



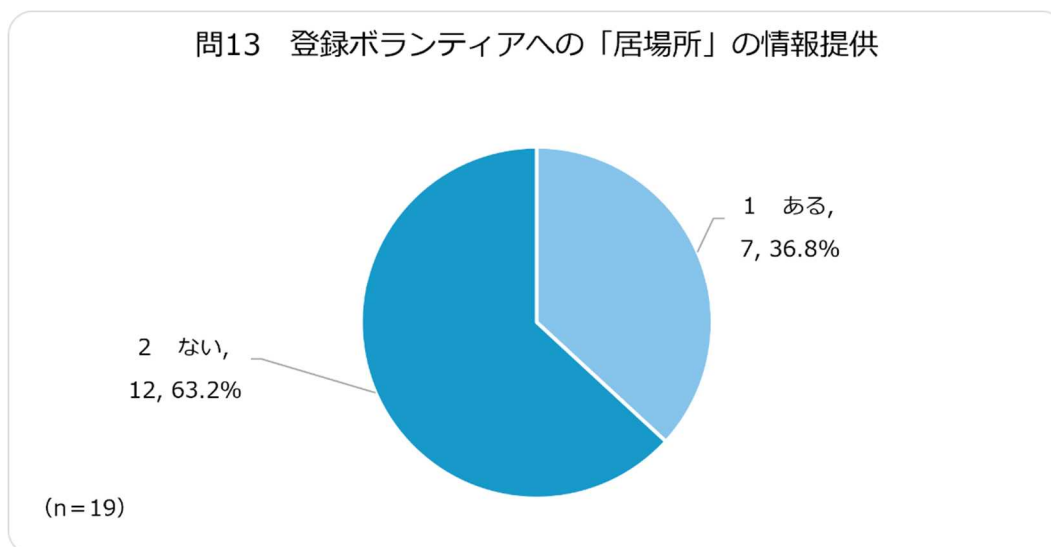
(2) 登録ボランティアへ「居場所」についての情報提供の有無

問13 貴社協の登録ボランティアに「居場所」について情報提供することがありますか。当てはまるものを選択してください。

登録ボランティアへ「居場所」について情報提供することがあるか聞いたところ、「ある」36.8%（7か所）、「ない」63.2%（12か所）となっている。

【情報提供することが「ある」市町】

下関市、山口市、防府市、下松市、岩国市、美祢市、田布施町

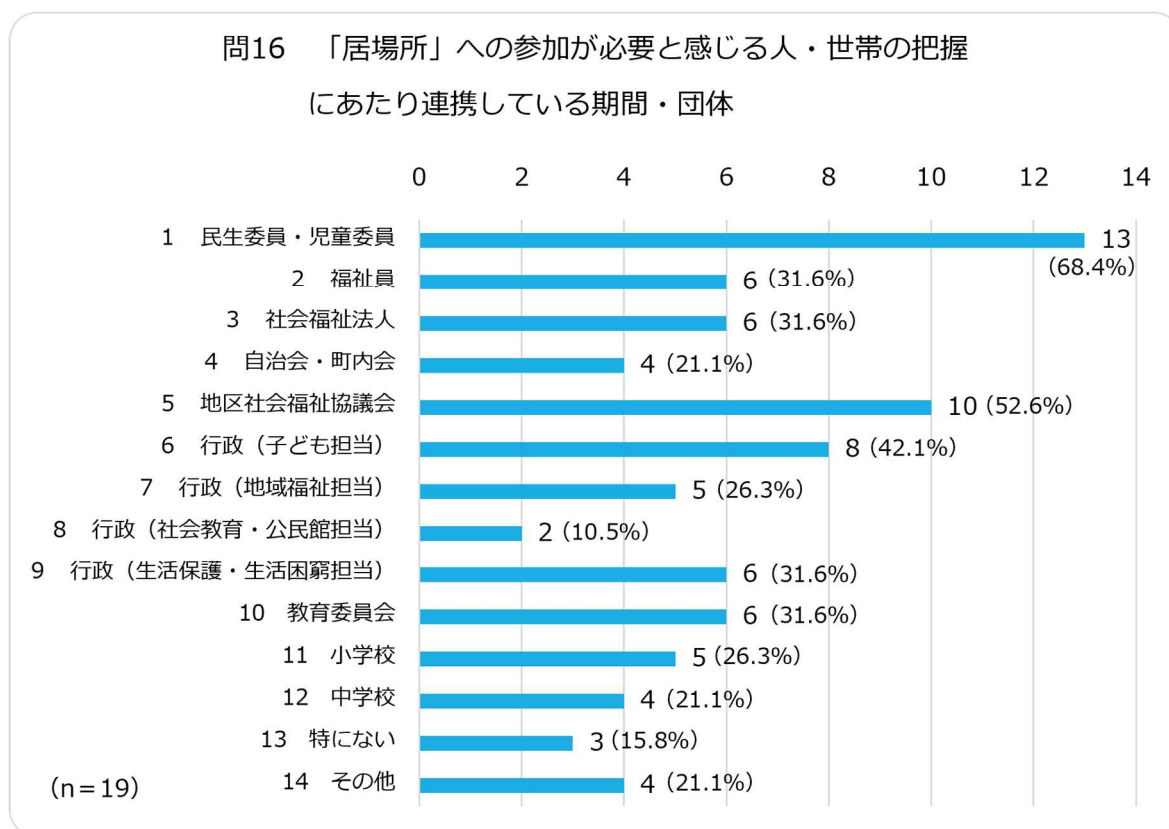


(3) 「居場所」への参加が必要と感じる人・世帯の把握にあたり連携している機関・団体
(複数回答)

問 16 貴社協では、「居場所」への参加が必要と感じる人・世帯を把握するにあたり連携している機関・団体はどこですか。当てはまるものすべてを選択してください。

「居場所」への参加が必要と感じる人・世帯の把握にあたり連携している機関・団体について聞いた。割合の高い順に3項目を挙げると、「民生委員・児童委員」68.4% (13 か所)、「地区社会福祉協議会」52.6% (10 か所)、「行政 (子ども担当)」42.1% (8 か所) となっている。

「その他」の回答としては、ネットワーク協議会内の会員、NPO、放課後教室等が挙げられている。



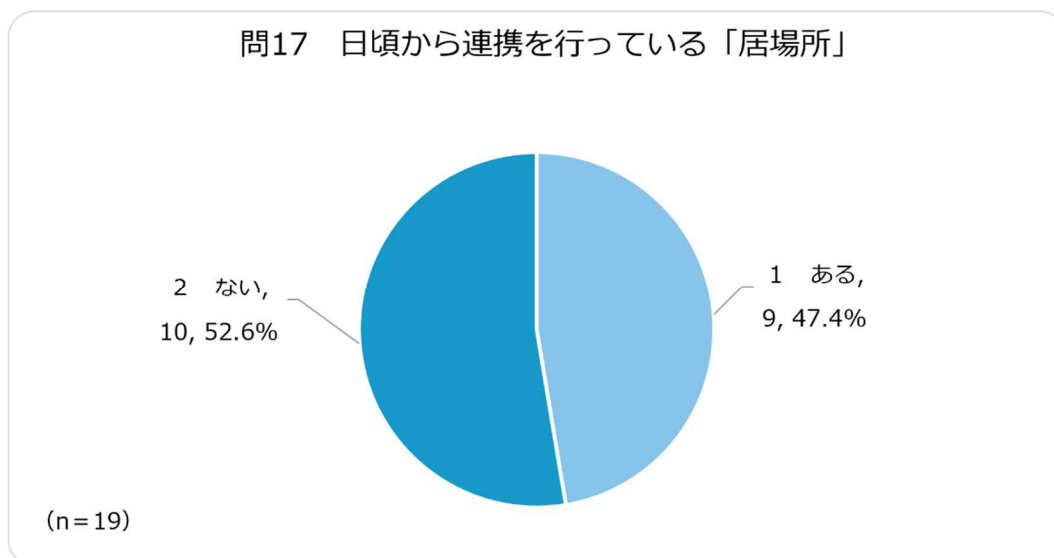
(4) 日頃から連携を行っている「居場所」の有無

問17 貴社協では、日頃から連携を行っている「居場所」がありますか。当てはまるものを選択してください。

日頃から連携を行っている「居場所」があるか聞いたところ、「ある」47.3% (9 か所)、「ない」52.6% (10 か所) となっている。

【連携を行っている「居場所」が「ある」市町】

下関市、山口市、防府市、下松市、岩国市、美祢市、周南市、田布施町、平生町



(5) 子どもと「居場所」をつなぐことの有無

問18 貴社協では、子どもと「居場所」をつなぐことはありますか。当てはまるものを選択してください。

子どもと「居場所」をつなぐことがあるか聞いたところ、「ある」31.6%（6か所）、「ない」68.4%（13か所）となっている。

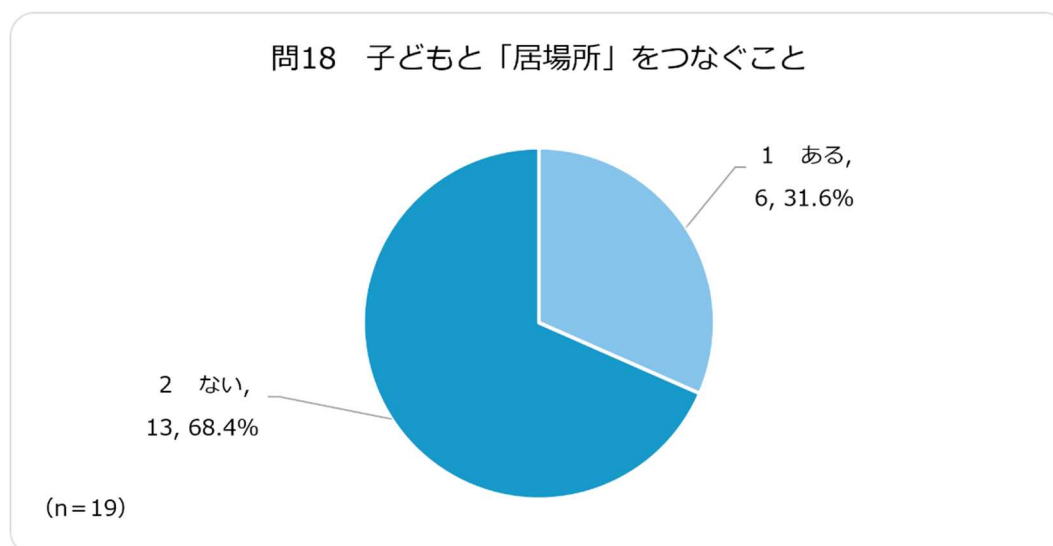
【子どもと「居場所」をつなぐことが「ある」市町】

萩市、防府市、岩国市、光市、美祢市、平生町

【子どもと「居場所」をつなぐことが「ない」市町（機会のなかった市町）】

下関市、宇部市、山口市、下松市、長門市、柳井市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、阿武町

※うち、周防大島町、上関町、阿武町は、町内に「居場所」なしと回答。



(6)「居場所」側から利用者についての相談の有無

問 21 貴社協では、「居場所」側から利用者について相談が来ることがありますか。
当てはまるものを選択してください。

「居場所」側から利用者について相談が来ることがあるか聞いたところ、「ある」26.3% (5 か所)、「ない」73.7% (14 か所) となっている。

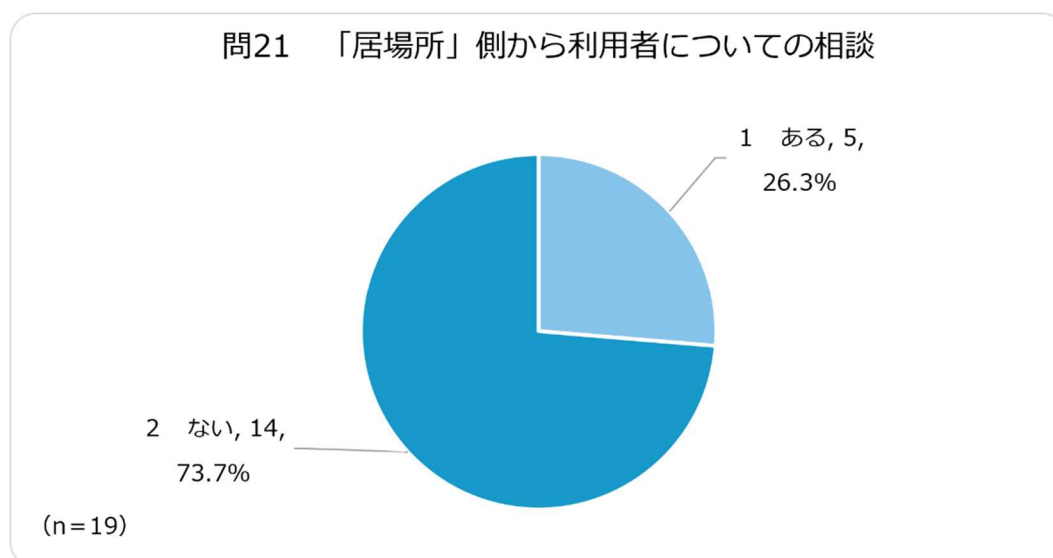
【「居場所」側から利用者について相談が「ある」市町】

下関市、山口市、防府市、岩国市、美祢市

【「居場所」側から利用者について相談は「ない」市町（機会のなかった市町）】

宇部市、萩市、下松市、光市、長門市、柳井市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、阿武町

※うち、周防大島町、上関町、阿武町は、町内に「居場所」なしと回答。



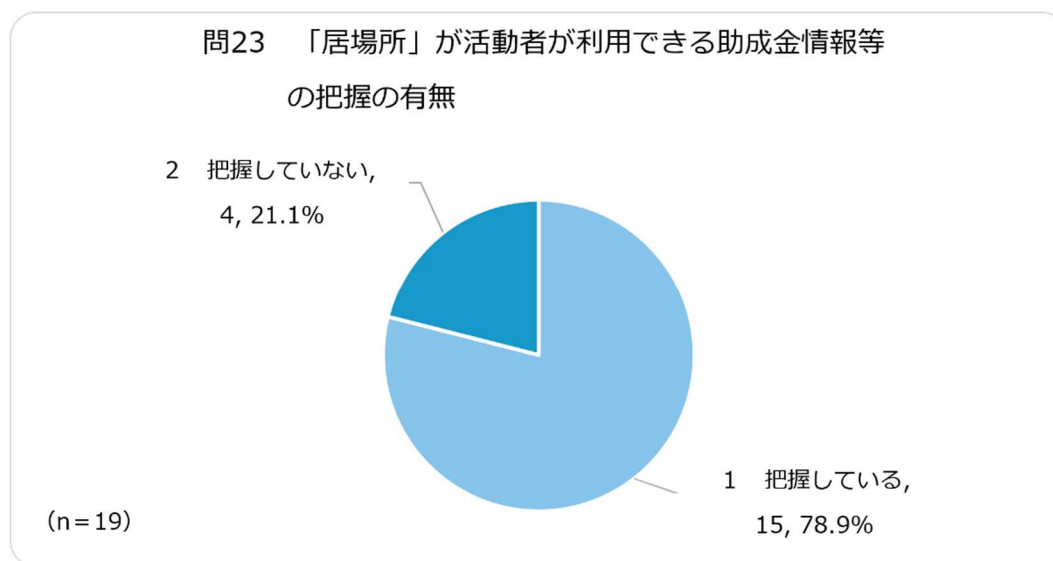
(7)「居場所」の活動者が利用できる助成金情報等の把握の有無

問23 貴社協では、「居場所」の活動者が利用できる助成金情報等を把握していますか。
当てはまるものを選択してください。

「居場所」の活動者が利用できる助成金情報等を把握しているか聞いたところ、「把握している」78.9%（15か所）、「把握していない」21.1%（4か所）となっている。

【助成金情報等を「把握している」市町】

下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、田布施町、平生町



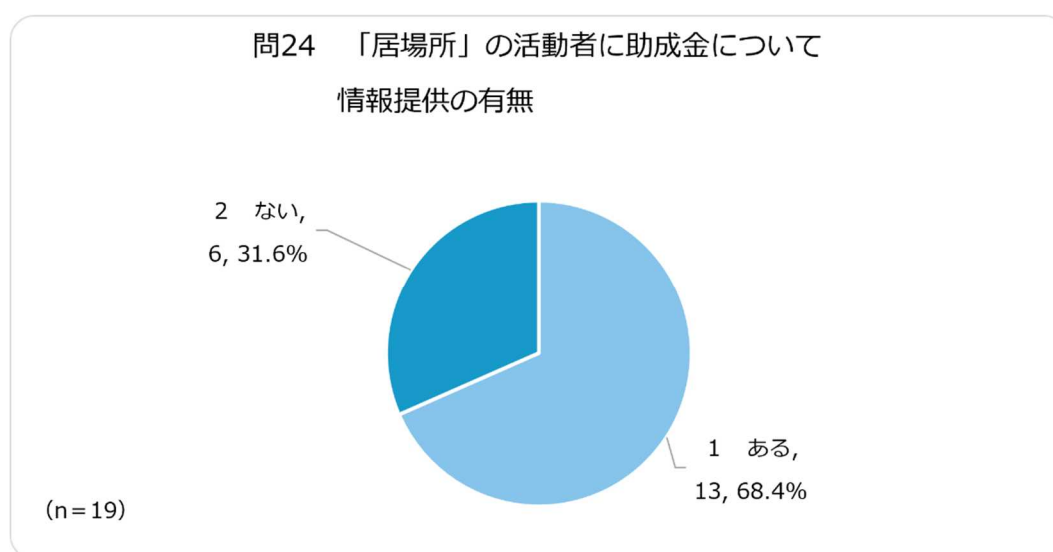
(8)「居場所」の活動者に助成金について情報提供の有無

問 24 貴社協では、「居場所」の活動者に助成金について情報提供することがありますか。当てはまるものを選択してください。

「居場所」の活動者に助成金について情報提供することがあるか聞いたところ、「ある」68.4%（13 か所）、「ない」31.6%（6 か所）となっている。

【助成金について情報提供することが「ある」市町】

下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市



(9)「居場所」の活動者への情報提供の方法

問 25 「居場所」の活動者に助成金の情報提供をすることが「ある」方におたずねします。貴社協では、どのように情報提供を行っています。主な方法について、当てはまるものを選択してください。

「居場所」の活動者への助成金の情報提供の方法について聞いたところ、「メール等での一斉送信」23.1%（3 か所）、「相談に来た方へ情報提供する」53.8%（7 か所）、「その他」23.1%（3 か所）となっている。

「その他」の回答としては、地区社協など市社協との繋がりのあるところへ情報提供、メールもしくは電話、周南ちるちあネット[※]での周知等が挙げられている。

【「メール等での一斉送信」で情報提供している市町】

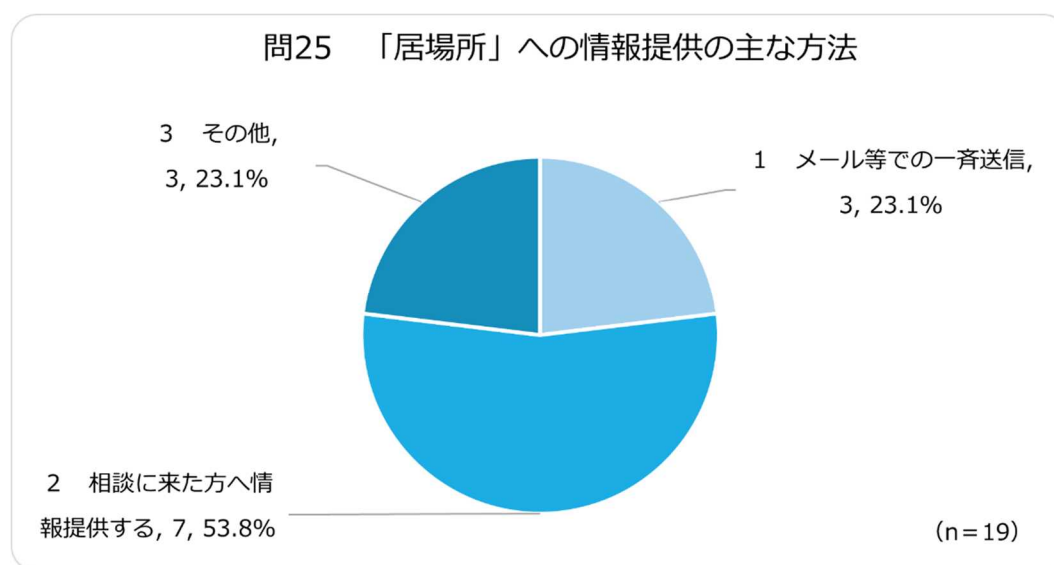
下関市、防府市、長門市

【「相談に来た方に情報提供する」市町】

宇部市、山口市、下松市、岩国市、光市、柳井市、山陽小野田市

【「その他」と回答した市町】

萩市、美祢市、周南市



※ 周南ちるちあネット…2019年に周南地域における子ども応援活動、居場所づくり活動に関わる諸団体と連携し、地域全体での情報共有並びに協力・支援体制の充実を図ることを目的として、周南地域子ども応援連絡協議会（通称：周南ちるちあネット）が設立された。現在、19団体が参加しており、事務局は浄土宗勝榮寺内のてらてらすプロジェクト（お寺でいんどり食堂）に設置されている。〔周南ちるちあネットホームページの掲載情報から記載〕

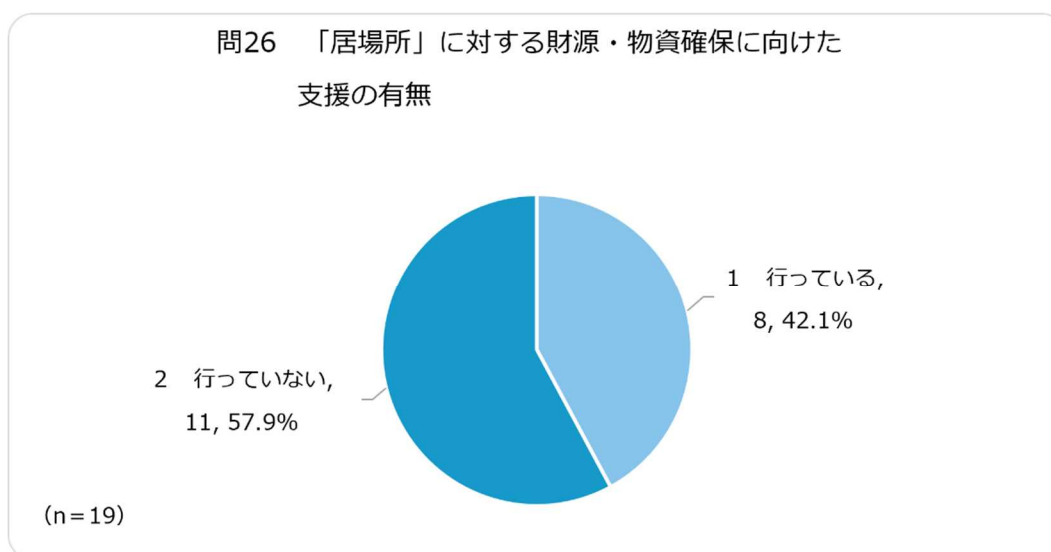
(10) 「居場所」に対する財源・物資確保に向けた支援の有無

問 26 貴社協では、「居場所」に対して財源・物資確保に向けた支援を行っていますか。
当てはまるものを選択してください。

「居場所」に対して財源・物資確保に向けた支援を行っているかについて聞いたところ、「行っている」42.1%（8か所）、「行っていない」57.9%（11か所）となっている。

【財源・物資確保に向けた支援を「行っている」市町】

下関市、山口市、防府市、下松市、岩国市、柳井市、周南市、田布施町



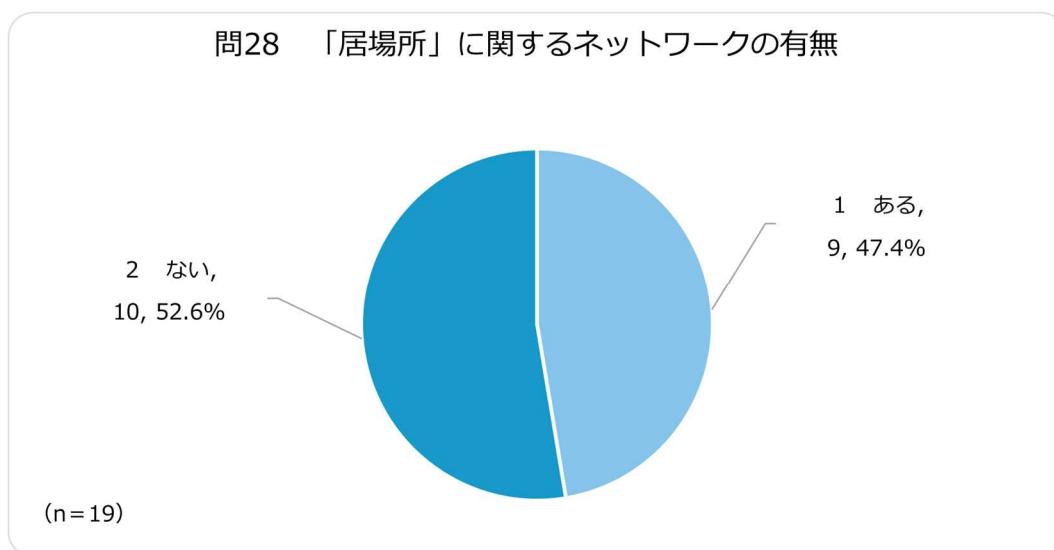
(11) 「居場所」に関するネットワークの有無

問 28 貴市町に「居場所」に関するネットワークがありますか。当てはまるものを選択してください。

「居場所」に関するネットワークがあるか聞いたところ、「ある」47.4%（9 か所）、「ない」52.6%（10 か所）となっている。

【ネットワークが「ある」市町】

下関市、萩市、防府市、光市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、田布施町

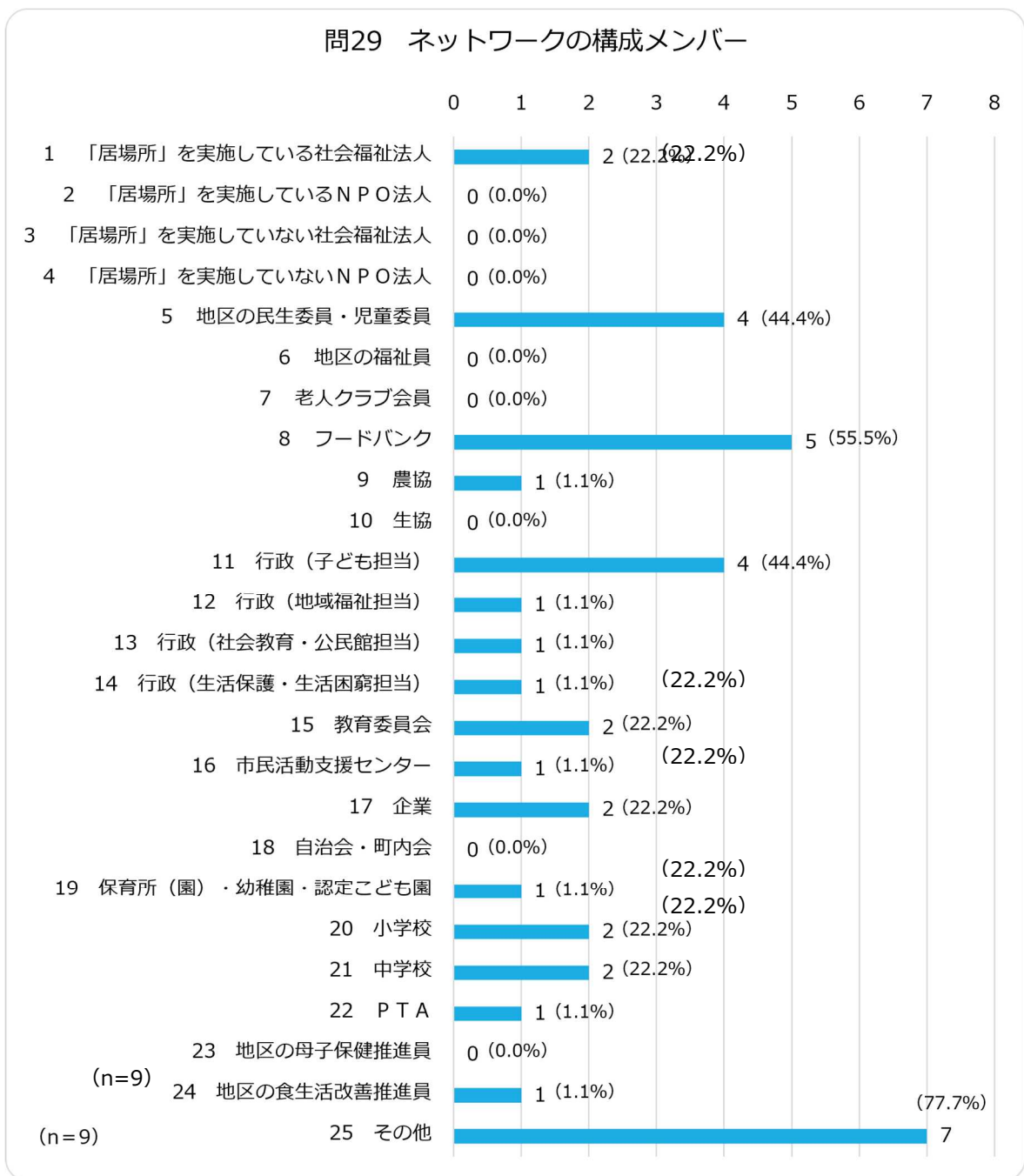


(12) 「居場所」に関するネットワークの構成メンバー（複数回答）

問 29 「居場所」に関するネットワークが「ある」とされた方におたずねします。ネットワークの構成メンバーはどのような機関・団体ですか。当てはまるものすべてを選択してください。

「居場所」に関するネットワークの構成メンバーについて聞いた。割合の高い順に4項目を挙げると、「その他」77.8%（7か所）、「フードバンク」55.6%（5か所）、「地区の民生委員・児童委員」及び「行政（子ども担当）」44.4%（4か所）となっている。

「その他」の回答としては、スクールソーシャルワーカー（個人）、飲食店、こども食堂実施主体者、大学等が挙げられている。

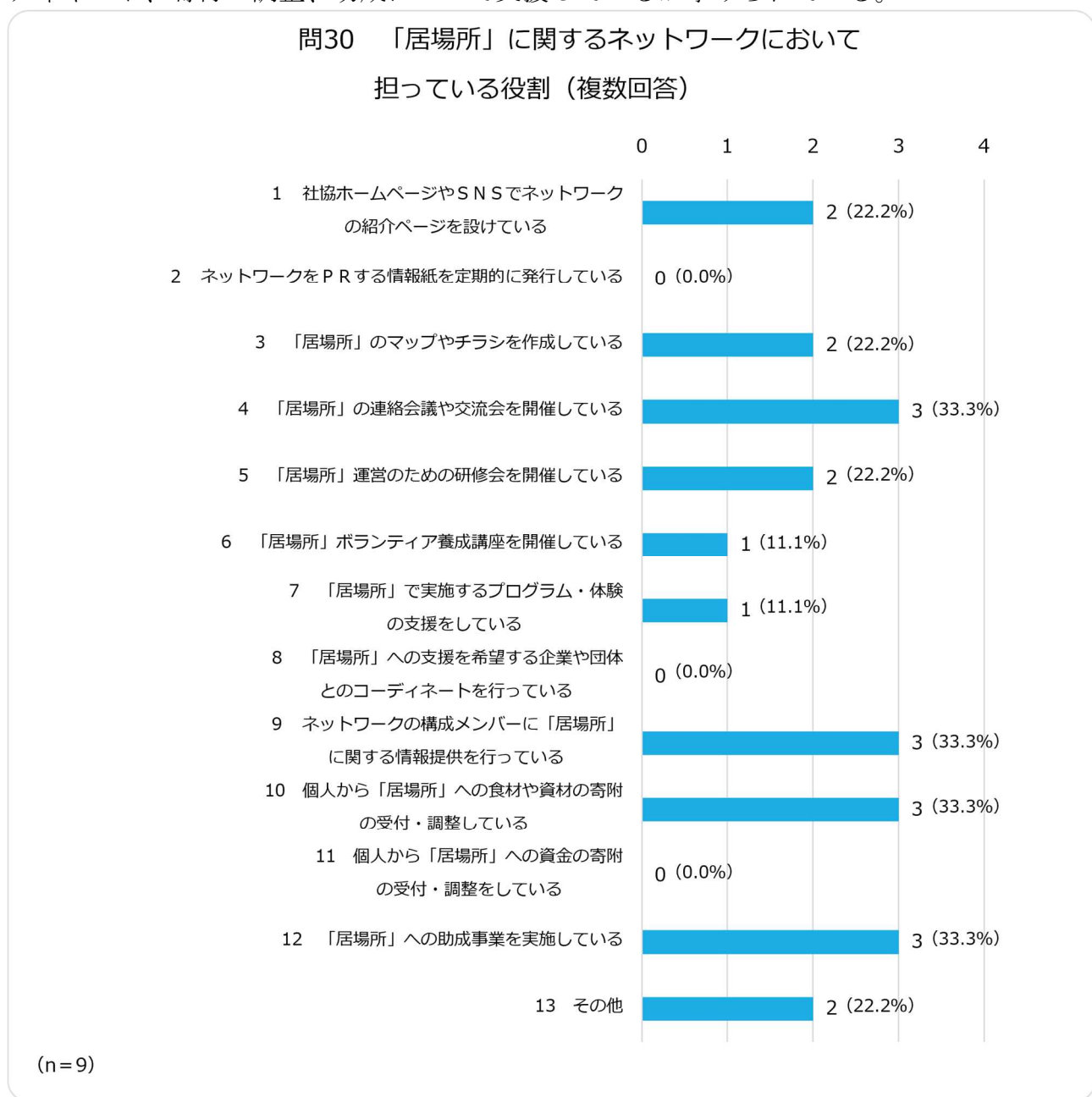


(13) 「居場所」のネットワークにおいて担っている役割（複数回答）

問 30 「居場所」に関するネットワークが「ある」とされた方におたずねします。
貴社協はネットワークにおいて、どのような役割を担っていますか。当てはまるものすべてを選択してください。

「居場所」のネットワークにおいてどのような役割を担っているか聞いた。割合の高い順に3項目を挙げると、『居場所』の連絡会議や交流会を開催している」「ネットワークの構成メンバーに『居場所』に関する情報提供を行っている」及び「個人から『居場所』への食材や資材の寄附の受付・調整をしている」33.3%（3か所）となっている。

「その他」の回答としては、ネットワークに加入していないため社協は役割を担っていない、ネットワークの組織内で役割分担には至っておらず市社協と企業や団体等とのコーディネート、寄付の調整、助成について支援しているが挙げられている。



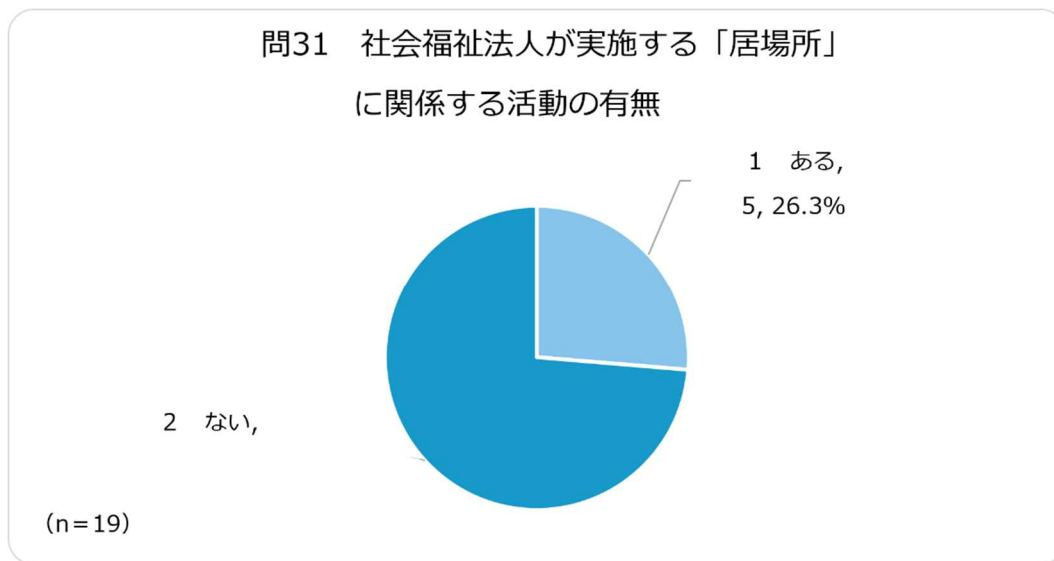
4 社会福祉法人との関わりについて

(1) 社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動の有無

問 31 貴市町では、社会福祉法人が実施する活動（地域における公益的な取組等）の中で、「居場所」に関するものはありますか。当てはまるものを選択してください。

社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動があるか聞いたところ、「ある」26.3%（5 か所）、「ない」73.7%（14 か所）となっている。

【社会福祉法人が実施する活動の中で「居場所」に関するものが「ある」市町】
下関市、山口市、岩国市、柳井市、田布施町



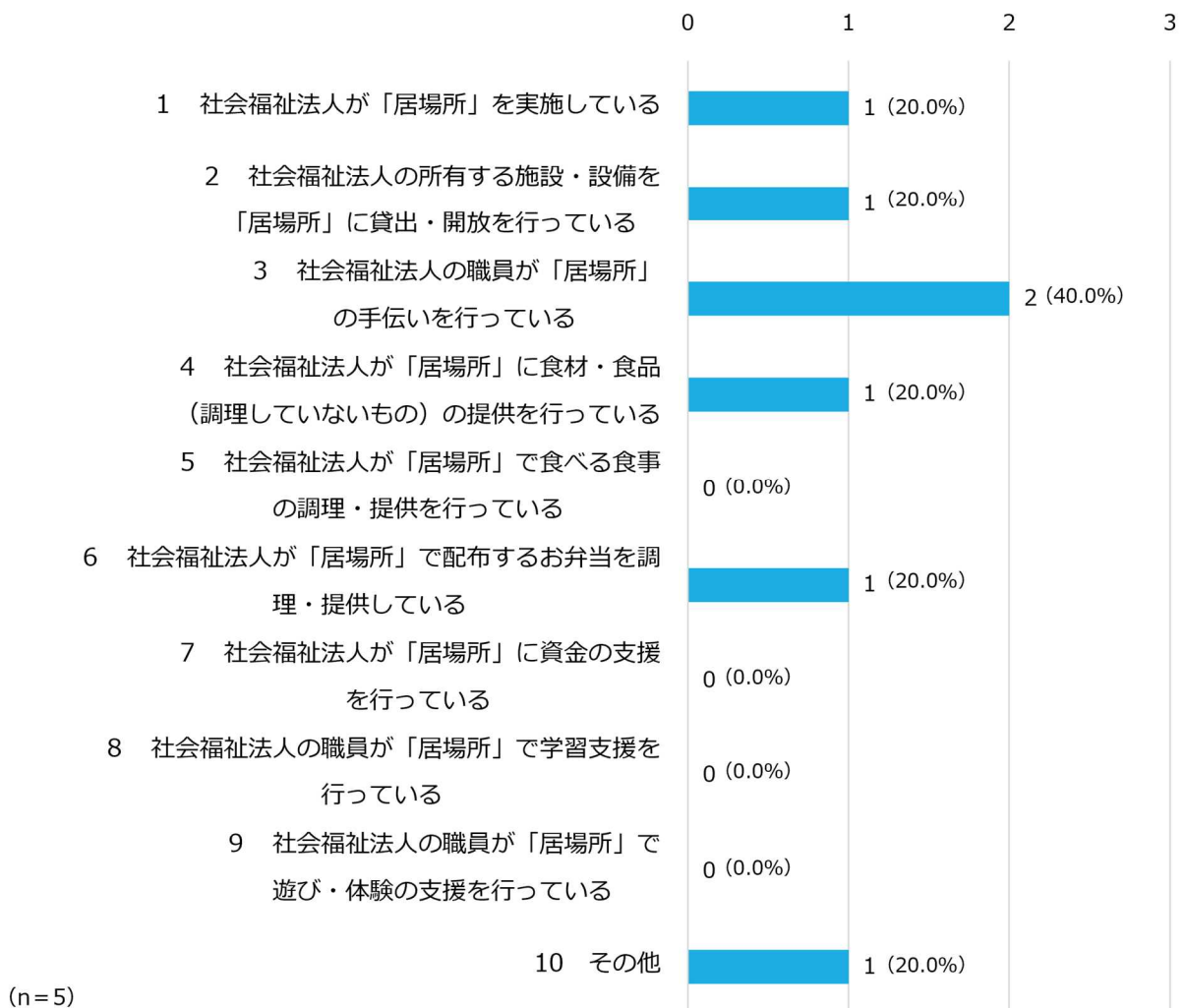
(2) 社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動内容（複数回答）

問 32 社会福祉法人が実施する活動で「居場所」に関するものがあるとされた方におたずねします。その活動はどのような取組ですか。当てはまるものをすべて選択してください。

社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動内容について聞いた。回答のあった項目を割合の高い順に挙げると、「社会福祉法人の職員が『居場所』の手伝いを行っている」40.0%（2 か所）、「社会福祉法人が『居場所』を実施している」「社会福祉法人が所有する施設・設備を『居場所』に貸出・開放を行っている」「社会福祉法人が『居場所』に食材・食品（調理していないもの）の提供を行っている」「社会福祉法人が『居場所』で配布するお弁当を調理・提供している」及び「その他」20.0%（1 か所）となっている。

「その他」の回答としては、各社会福祉法人がもつネットワークを活用し、子ども食堂への参加促進や広報活動を支援するが挙げられている。

問32 社会福祉法人が実施する「居場所」に関する活動内容（複数回答）



5 「居場所」を通じての支援と連携の広がりについて

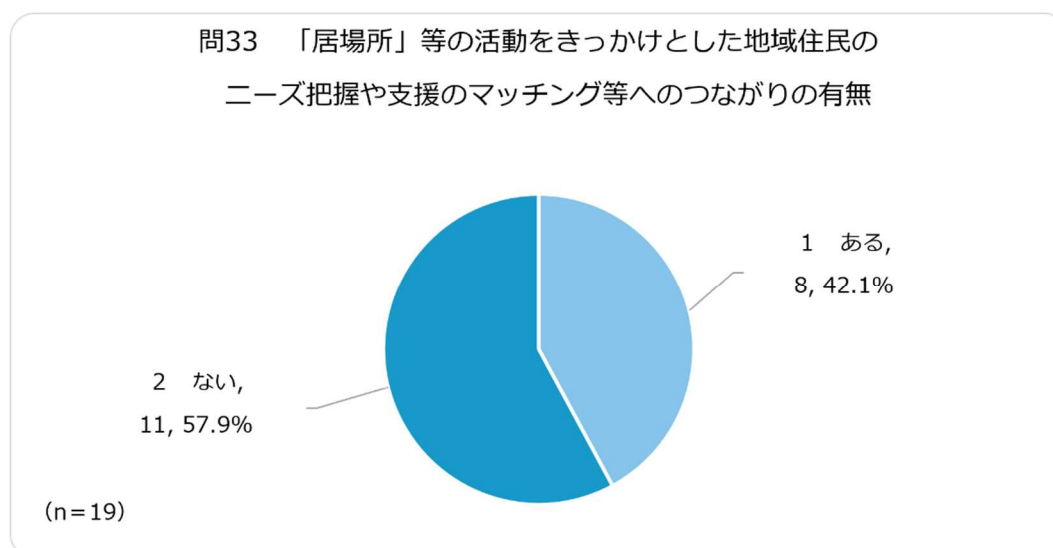
(1) 「居場所」等の活動をきっかけとした地域住民のニーズ把握や支援のマッチング等へのつながりの有無

問 33 「居場所」等の活動をきっかけに、地域住民のニーズ把握や支援のマッチング等につながることはありますか。当てはまるものを選択してください。

「居場所」等の活動をきっかけに、地域住民のニーズ把握や支援のマッチング等につながることはあるか聞いたところ、「ある」42.1%（8 か所）、「ない」57.9%（11 か所）となっている。

【マッチング等につながるものが「ある」市町】

下関市、防府市、下松市、岩国市、柳井市、美祢市、周南市、田布施町

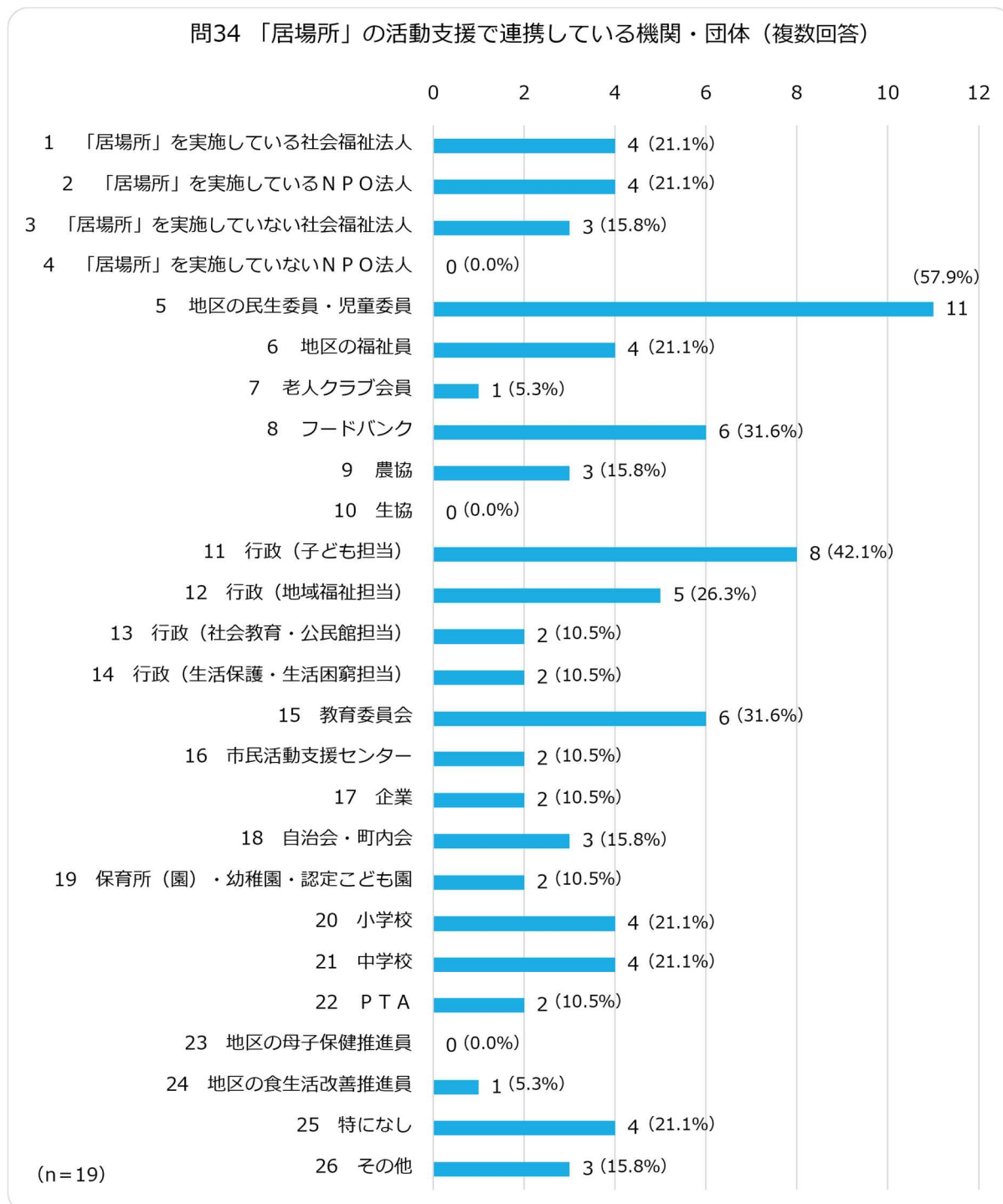


(2)「居場所」の活動支援で連携している機関・団体等（複数回答）

問34 「居場所」の活動支援を行うにあたり、連携している機関・団体等がありますか。当てはまるものすべてを選択してください。

「居場所」の活動支援を行うにあたり、連携している機関・団体等について聞いた。割合の高い順に5項目を挙げると、「地区の民生委員・児童委員」57.9%（11か所）、「行政（子ども担当）」42.1%（8か所）、「フードバンク」及び「教育委員会」31.6%（6か所）、「行政（地域福祉担当）」26.3%（5か所）となっている。

「その他」の回答としては、こども食堂代表者、大学、放課後教室が挙げられている。





この事業は、赤い羽根共同募金の助成により実施しました。